

2020 年度事業報告書

自 2020 年 04 月 01 日から
至 2021 年 03 月 31 日まで

1. 概要

法人名称：一般社団法人ビーンズ

本社住所：東京都千代田区神田錦町 1 丁目 14-3 ウキガイビル 5 階

事業内容：障がい者支援に関わるサービス及び福祉施設の運営

事業方針：常に取り残される少数の側に立ち、今の時代に必要な選択肢をつくる
支援方針：本人主体の自立支援の原則のもと本人の「自己決定」「自己受容」

「自立的な人間関係の構築」を支援する

2. 事業の現況

東京都千代田区・渋谷区のエリアで、(1)働く選択肢を広げる就労支援、(2)地域で自立した 1 人暮らしを支える生活支援、(3)障がい児の家族の支援の 3 領域で、6 施設を運営

1 働く選択肢を広げる就労支援

▼就労継続支援 B 型 【2 施設】

- ・Tentone (渋谷区)
- ・ソーシャルグッドローズスターズ千代田 (千代田区)

2 地域で自立した 1 人暮らしを支える生活支援

▼共同生活援助 【3 施設】

- ・マメッソ渋谷 (渋谷区)
- ・マメッソ千代田 (千代田区)
- ・マメッソ府中 (府中市)

3 障がい児の家族の支援

▼放課後等デイ 【1 施設】

- ・豆庭 (渋谷区)

3. 2020 年度の主な事業概況

2020 年から発生したコロナ感染症による影響は大きく、どの施設も利用者の安全を最優先し、感染者ならびに濃厚接触者が発生した場合は施設の休止を指示することになった。しかしながら、早期の段階でリモートワークに移行し、在宅での支援に切り替えたことによって利用者への影響は最小限に抑えることができた。またコロナ過での在宅支援に対応するために新たに郊外にグループホームのマメッソ府中を開設、リモートワークに対応して全室インターネットに対応した。

<主要な取り組み>

- 2020年4月 全ての施設でリモートワーク制度を導入
- 2020年7月 就労支援事業のキャリア制度の検討会を社内で発足
- 2020年10月 マメッソ府中を開設（6室）
- 2020年11月 マメッソ府中に無料インターネット設備を取り付け
- 2021年12月 杉並区方南町に新たな施設を整備するための話し合いを杉並区と開始、開業は2022年3月予定。

4. 事業全体の売上高

2019年度(実績)	: 233,098,714 円
2020年度(予測)	: 240,000,000 円

5. 2021年度に向けた事業課題

次年度も引き続きコロナ感染症への対応が重点課題になる。また、感染症により経済的に法人の運営が揺らいだり、あるいは職員や利用者の安心が崩れることがないように経済的基盤の充実・心の支え、そして感染症対策の三本を中心に支援の継続に取り組んでいく。

① 感染症対策の徹底

コロナ感染症の発生により各施設の運営を根本から見直さないといけない状況になっているが、一方で利用者にとって安心できる日常を担保しなければならない。感染症対策と日常の仕事や生活のバランスについて各施設で検討しながら進めていく。

② 法人の財務的基盤の強化

コロナ融資などを活用しながら財務的基盤を整備していく。余計な経費を削減し、中長期に貯蓄を増やせるように流動資産（現金）を増やす一方で概ね3年かけて自己資本比率を向上させていく。

③ 理念を伝える事、耳を傾けること。

コロナ感染症により不安を感じている利用者や職員の気持ちを支えるために改めて支援の意義を伝え一緒に考えていくことで支えをつくっていく。同時に不安な事や心配なことがあれば気軽に相談できる支援体制を整備する。

以上